

# FAPJ/FCSJ106Nシリーズ(一般型・多回線タイプ) 遮断スイッチ設定表／接点、ジャンパーピン構成図

件名 : \_\_\_\_\_

型式 : \_\_\_\_\_  
(例: FCSJ106N-B34-100LT)


新規 年 月 日  
更新 年 月 日  
発行社名 : \_\_\_\_\_  
部所 : \_\_\_\_\_  
管理番号 : \_\_\_\_\_

承認	検証	担当

## 【はじめに】

本資料は、連動先の遮断スイッチ設定確認とジャンパーピンの設定を行うための準備として記入するものです。現場の仕様に準じて本資料に記載してください。また、設定後は、本記録用紙を大切に保管してください。リニューアルや基板交換時に設定した内容の確認が必要となります。なお、本受信機を使用するにはジャンパーピンの設定以外にデータベースの設定も必要です。(TM10862「FAPJ/FCSJ106N(一般型・多回線タイプ)機能設定表」を参照)

**【ジャンパー設定の記載方法】**  
(例) JTELの設定: 1-2間に設定の場合



注) JTELのみ出荷時より設定済みのためOが付いていますが、変更する場合はXを付ける等の対応をしてください。

**【移報接点の構成】**

■受信機

- 移報接点の標準装備はF1~F25 (PSU基板)です。
- ROU基板 (オプション、20点/枚、最大9枚まで) により、F26~F205 (最大)まで追加できます。
- F4、5はトランスファ接点、F1~F3は独立したコモンメーク接点、F6~は5接点で1コモンメーク接点です。
- ステータス連動で「異常代表」または「主電源断」にした場合、正常時にリレーがオン状態となり、C-A端子間が導通します。異常時にオン信号が必要な場合は、F4、F5 (C接点)のC-B端子間を使用してください。

■P型インターフェイス盤

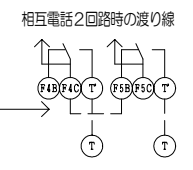
- SOU基板 (20点/枚、最大9枚まで) により、S1~S180 (最大)まで追加できます。S1~S180まで全て5接点で1コモンメーク接点です。
- 注) ROU基板、SOU基板は盤のキャビサイズにより枚数が異なります。

**【地区音響の使用仕方】**

- BKC-BKF端子は一斉鳴動時に使用できます。
- 区分鳴動はF6~25接点を使用し、地区音響有電圧移報用のジャンパーピンJPF1~JPF4、地区音響一斉鳴動用のジャンパーピンJPA1~JPA4を設定してください。  
注) 地区音響として使う場合はF6から前詰めて使ってください。F6~10が無電圧a接点でF11~15を地区音響 (有電圧) のような使い方はできません。
- 本機の地区音響回路は、鳴動時マイナスコモン (BKC) です。

**【相互電話の使用仕方】**

- 相互電話を行う場合は、ジャンパーピン (JTEL) を2-3間に設定してください。
- 相互電話が1回路の時: F5のトランスファ接点を使用しJT1の設定を行います。
- 相互電話が2回路の時: F4、F5のトランスファ接点を使用しJT2のみの設定、JP設定の他に端子側 (F4C-F5B間) に渡り配線が必要です。



**【諸表示 (LX) の電源について】**

- 諸表示 (LX) を受信機電源 (I±) から供給する場合、「JPI-」を設定することで、I-とLXCの渡り配線は不要になります。

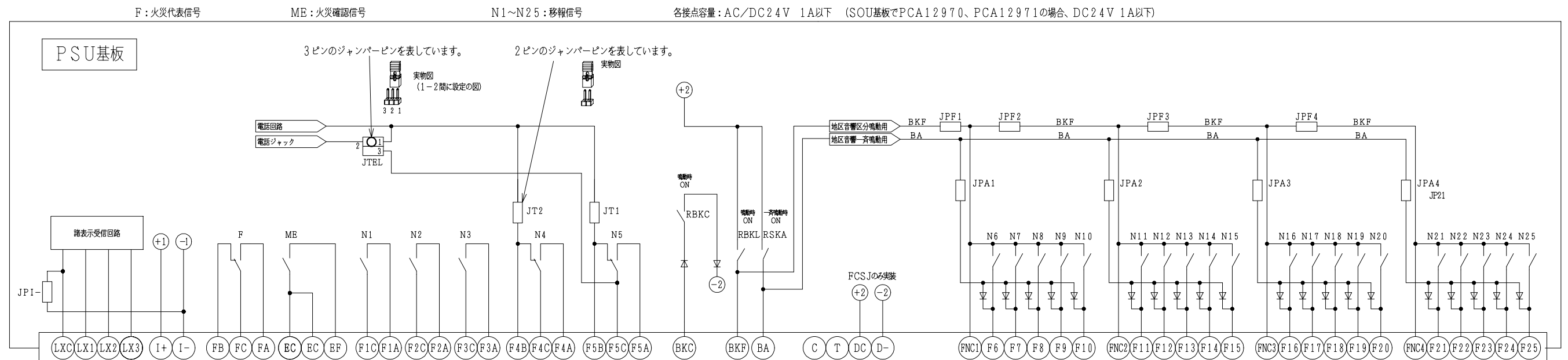
## 1. 遮断スイッチ設定表 (機能設定表TM10862の2項 オプションスイッチの設定と6項、7項 移報出力回線設定の遮断スイッチ内容と同じものです)

スイッチ名称 (標準)	スイッチ名称 (変更時)	遮断する接点
非常放送遮断		
火災代表遮断		F接点 (FA-FC) ※固定
消火栓遮断		
防排煙遮断		

スイッチ名称 (標準)	用途	スイッチ名称 (変更時)	遮断する接点
OP1	遮断 / ノンロック / ロック		
OP2	遮断 / ノンロック / ロック		
OP3	遮断 / ノンロック / ロック		
OP4	遮断 / ノンロック / ロック		
OP5	遮断 / ノンロック / ロック		

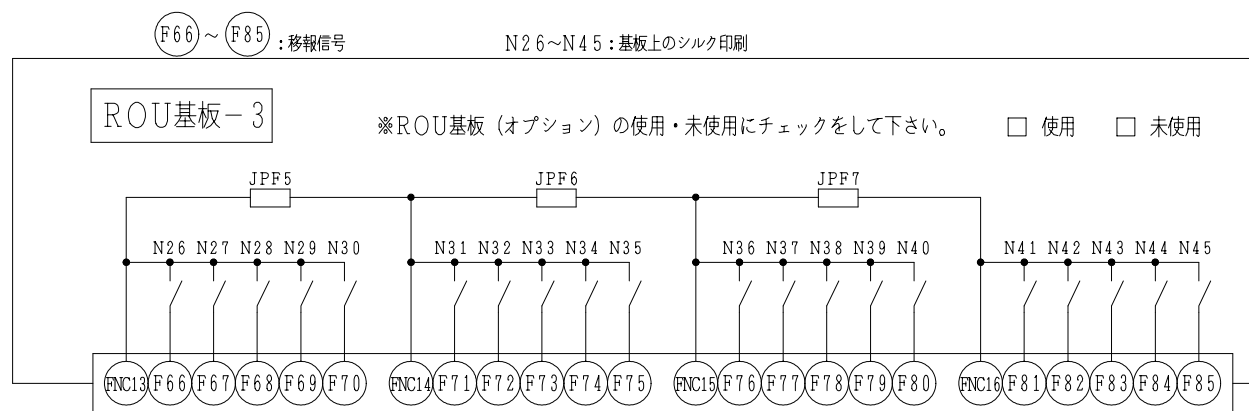
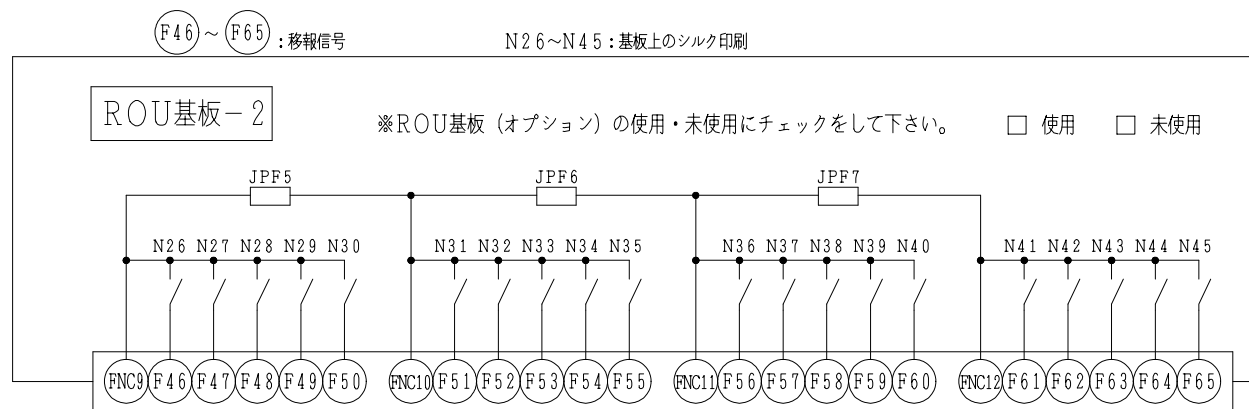
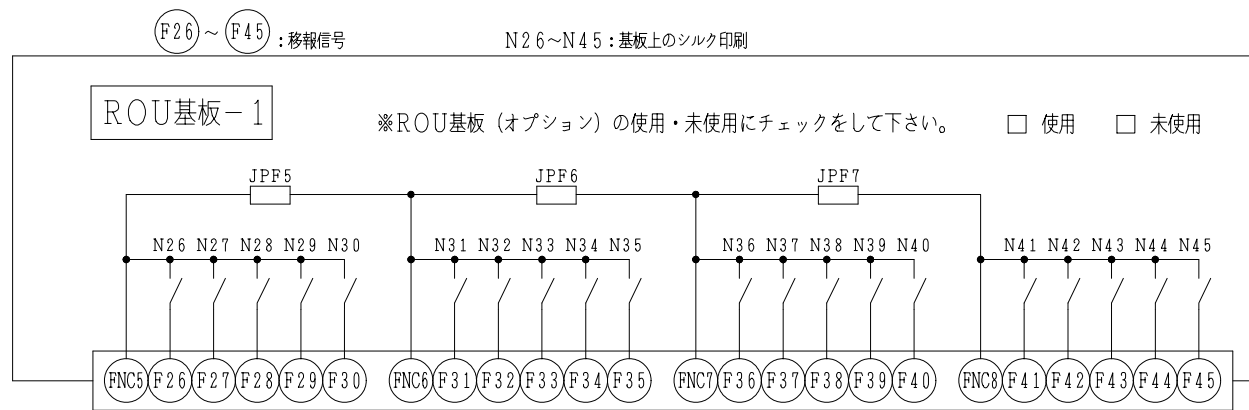
## 2. 接点、ジャンパーピン構成図 (2-1) PSU基板

- 地区音響出火階直上階鳴動 : JPF1、JPA1短絡 (F6~10を使用する場合)      ■ 基板内コモン共通化 (無電圧) : JPF2~4 (F6~F25を使用する場合) 注) JPF1は使用不可      ■ 相互電話 : JTn (1回路時: JT1のみ、2回路時: JT2のみ)
- JPF2~4、JPA2~4短絡 (F11~F25を使用する場合)      ■ 諸表示 (LX) 電源用 : JPI-短絡 (受信機電源を使用する場合)      JTEL (2-3間) 短絡 (出荷時は1-2間短絡: 相互電話無しモード)



(2-2) ROU基板 (オプション)

- JPF5~7を設定することでコムの共通化ができます。
- 注) ROU基板にて地区音響有電圧出力に対応する事はできません。



(2-3) SOU基板 (P型インターフェイス盤の手配時)

- JPS1~3を設定することでコムの共通化ができます。
- 注) SOU基板にて地区音響有電圧出力に対応する事はできません。

【終端設定方法】

- 基板番号がPCA12972以降の場合、末端の基板には終端抵抗用のジャンパープラグJP1、JP2を取り付けてください。

